

具志川初優勝 女子仲西V2

県中学総体ハンド

第38回県中学総合体育大会は18日、先行開催のハンドボールを浦添市民体育館で行った。男子決勝は具志川が32-29で浦添との接戦を制し初優勝。女子は仲西が後半に点差を広げ、27-17で浦添を破り、2年連続9度目の栄冠に輝いた。総体はこの日で先行開催競技が終了。21日に県総合運動公園レクドームで総合開会式を行い、22日から本格的に競技が始まる。

浦添	具志川	仲西	浦添
22	32	27	24
11 11	16 16	15 12	12 12
7 10	12 17	8 9	10 6
17神	29浦	17浦	16美
森	添	添	東

堅守一丸 窮地で集中

春季大会覇者、浦添との決勝。互いに3点以上のリードを奪えない大接戦で、具志川は徹底した守備で耐え抜いた。具志川は後半から相手エースにマンツーマンでマークをつけて「得点源封じ」も一丸で守り、逆に「ここ点差をつけたかった」という久場研太のゴールなど、この日初めて3点差を

につけ抜け出した。直前の準決勝では、現チームで一度も勝ったことがなかった中頭地区のライバル、美東を破り大泣きした選手たち。金城主将は「美東に勝った時点で達成感があったけど、決勝は本当の目標である優勝に向かつて全力で戦えた」と胸を張った。

(大城大輔)

速攻一気 10点差完勝

仲西は開始2分までに得意の速攻などで先制3点を連取し、流れを一気に引き寄せると、後半も手を緩めず、全員投入し10点差に引き離れた。4月の春季選手権ではエース安里ころろ主将は「全員で試合を楽しみ、将をけがで欠き、1点差で準優勝に甘んじたが、エースが戻り、完勝だった。昨年(去年)は全国大会1回戦で敗退。雪辱に向け神谷監督は「九州大会で3位以上に勝つ」と胸を張った。チーム最多6得点の右サイド

宮城美季は「決まって良かった」と満面の笑み。安里は「九州大会で3位以上に勝つ」と意気込んでいる。全国出場権を取り、全国でも勝つ」と意気込んでいる。

(安里真己)

